

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県芦屋市 JR芦屋駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	0	

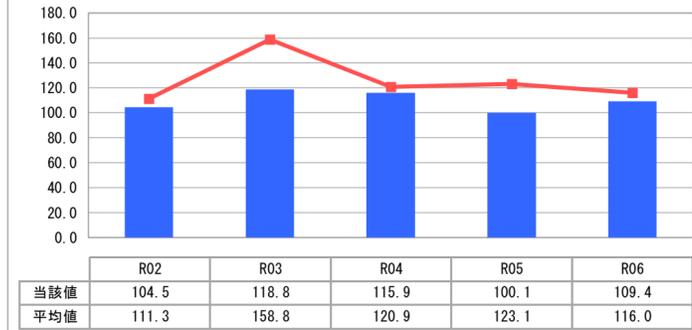
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	無	9,570
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
160	500	無

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

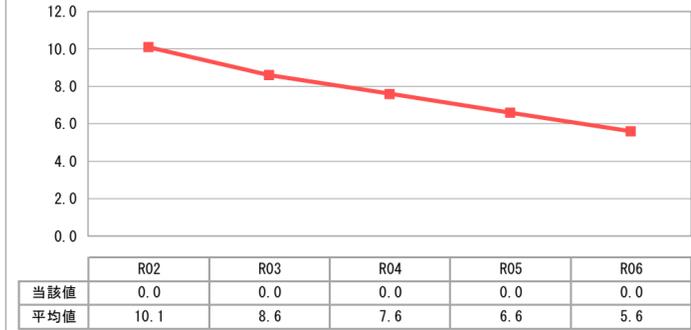
①収益的収支比率 (%)

[1,604.7]



②他会計補助金比率 (%)

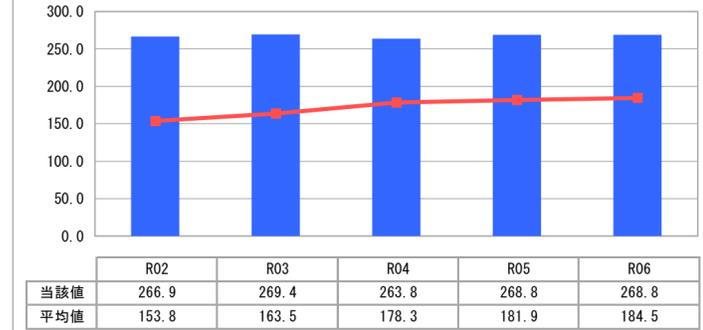
[3.8]



## 3. 利用の状況

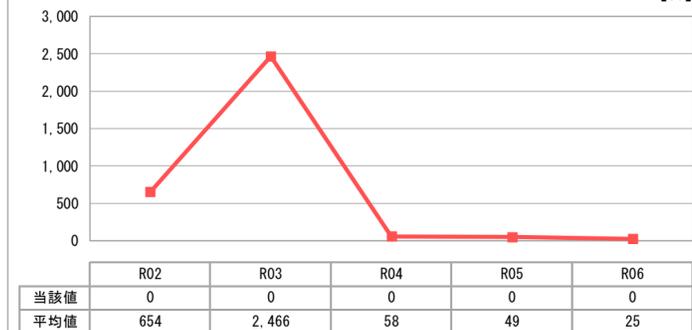
⑪稼働率 (%)

[218.2]



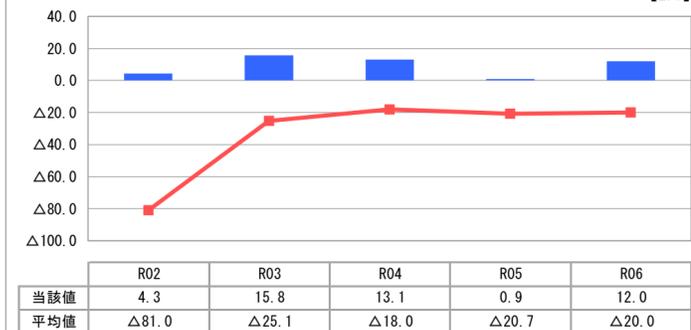
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

[39]



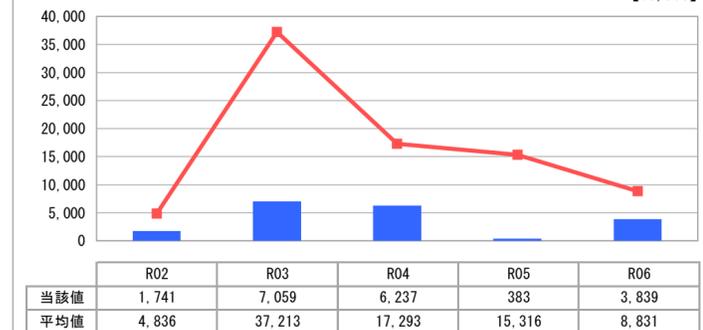
④売上高GOP比率 (%)

[2.0]



⑤EBITDA (千円)

[10,905]



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

865,046

865,046
---------

⑧設備投資見込額 (千円)

315,759

315,759
---------

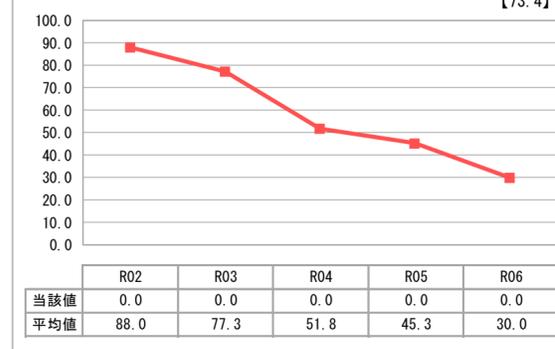
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

[73.4]



## 分析欄

- 収益等の状況について**  
償還金返済完了を受けて繰入金がなくなったことにより、各指標の数値が改善された一方で、新型コロナウイルス感染症流行による利用台数の減少からの完全な回復には至らず、依然としてコロナ前の水準には戻っていない。また、人件費の高騰などの影響により、警備業務等の経費が増加傾向にあり、費用面の抑制が困難状況にある。引き続き次年度以降の収益等の見通しは、不透明な状況にある。
- 資産等の状況について**  
施設建設から30年近く経過し、今後設備更新に多額の費用を要することを見込んでいる。企業債残高対料金収入比率は、償還金の返済が完了しているため、引き続きゼロの状態となる。
- 利用の状況について**  
適切な設備更新にあわせて利便性を高める改良を行っているが、稼働率は依然として全国平均を超えているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による減少からの完全な回復には至っていない。

## 全体総括

償還金の返済完了により、各指標の数値が改善された一方で、新型コロナウイルス感染症による収益減からの完全な回復には至っていない。今後予定している設備更新について、より適切な時期を見極め、現在の稼働状況に応じた適切な能力・規模の設計を行い、利用料収入とのバランスを考慮し、より効果的・効率的な設備の導入及び管理運営に努める。